

シャチの緊急移送に関する 合同記者会見

(平成23年10月21日)

【説明資料】

1. 「名古屋港水族館へのシャチの緊急移送について」
2. 「鴨川シーワールドからのシャチの緊急移送について」

【参考資料】

- ・「シャチの緊急移送について」(連名)
- ・ 個体情報、写真
- ・ 施設概要 (両館)

【出席者】

(株) グランビスタホテル&リゾート

取締役副社長 須田貞則

鴨川シーワールド

総支配人 佐藤信也

館長 荒井一利

名古屋港管理組合

関連事業担当部長 久野裕之

(財)名古屋みなと振興財団

専務理事 梶野正典

常務理事(館長) 祖一 誠

飼育展示部長 日登 弘

名古屋港水族館へのシャチの緊急移送について

鴨川シーワールドでは昨年4月、名古屋港水族館より繁殖を軸にした学術研究及び教育展示を目的に、シャチのブリーディングローンの具体的な申し入れがあり、双方協議の結果、鴨川シーワールドで飼育中の雄のシャチ「ピンゴ」とそのペアである雌のシャチ「ステラ」2頭の移送の実施の合意に至り、昨年度冬期間に於き名古屋港水族館への移送の実行を計画しておりました。

しかしながら、名古屋港水族館にて飼育中の雌のシャチ「ナミ」が平成22年年末より体調を崩し、今年1月14日に死亡するという事態を受け、計画していた鴨川からのシャチの移送を急遽見送り静観することとなり、事実上計画が延期となりました。

一方、鴨川シーワールドでは、平成23年2月、飼育中の雌のシャチ「ラビー」と同居中の雄のシャチ「オスカー」との交尾があり、5月に「ラビー」の妊娠が確認されました。また、平成23年6月には雌のシャチ「ステラ」と同居中の雄のシャチ「ピンゴ」との間に交尾があり、8月に「ステラ」の妊娠も確認されました。シャチの妊娠期間は約18ヶ月であることから順調に行けば「ラビー」は来年8月に、また「ステラ」は来年12月に出産の予定となります。

鴨川シーワールドではこうした事実を受け止め、無事な出産が可能となるには如何なる飼育環境が条件となるかを命題に精査と議論を続けて参りました。

その結果、2頭のシャチの出産には、現状のプール数では不足する、個体数増による過密化による影響などを鑑み、妊娠個体である「ステラ」とそのペアである「ピンゴ」及びその子供の「ラン」を、名古屋港水族館へ対し受け入れの要請をする事を今年9月に結論するに至りました。

尚、子供の「ラン」の移送については、他の子供に比べて年齢も若く（5才）、母親への依存度がまだ強い為、当館に残すよりは親子一緒に居た方が良い飼育環境が形成されると判断した結果です。

そして、9月下旬名古屋港管理組合側にシャチの緊急移送の要請を行い、その後双方で協議を重ねた結果今般、基本合意に達し此の度の記者会見に臨んだ次第でございます。

鴨川シーワールドでは、今後「ラビー」の出産に対して万全の態勢で臨むと共に、「ラビー」ファミリーの飼育に専念し、また名古屋港水族館で飼育される「ステラ」ファミリーに対しても、その出産を含め、全面的な支援体制を築きバックアップを行って参ります。

この2頭の妊娠は、世界的にも大変貴重なシャチの飼育下繁殖であり、今は無事出産できる事を切に願っております。

平成23年10月21日

株式会社グランピスタホテル&リゾート
鴨川シーワールド

2011年10月21日

鴨川シーワールドからのシャチの緊急移送について

標記に関し、鴨川シーワールドからシャチ2頭の妊娠が確定し、現在でもシャチ7頭を飼育し手狭となっている同施設での出産が困難となるため、急ではあるが世界最大級のシャチ飼育展示プールを有する名古屋港水族館へシャチ3頭（ピング・ステラ・ラン）を緊急移送し、無事出産をさせたいとの協力要請がありました。

移送時期については、現在、ステラは妊娠4ヶ月（来年12月出産予定）であり、移送による母シャチの負担を軽減するため、この冬の間に移送することを強く希望しています。また、移送及び移送後のシャチの飼育及び健康管理については、経験豊富なトレーナーが名古屋港水族館に常駐し飼育管理にあたるなど、鴨川シーワールドの責任体制の下で行われます。

シャチは捕獲が禁止されている保護動物で、世界で僅か42頭（国内では鴨川の7頭）が飼育されているだけの非常に貴重な動物です。シャチの飼育展示を継続するためには、繁殖を念頭におき飼育園館（国内外を問わず）の協力が必要とされています。

また、名古屋港水族館では、シャチ「ナミ」の死亡後同館が引き続きシャチを飼育するに当たり、「シャチ死亡に関する調査委員会」からの提言を真摯に受け止め、現在対応について検討中（実施可能な項目についてはすでに実施中）ですが、今回の緊急移送は、調査委員会の全委員の方々から、シャチの生命を守るための必要な対応であるとの理解を得ております。

よって、出産を控えたシャチの命を助けるために、名古屋港水族館への緊急移送及び飼育について協力することといたしました。

名古屋港管理組合

財団法人名古屋みなと振興財団（名古屋港水族館）

2011年10月21日

シャチの緊急移送について

鴨川シーワールド（千葉県鴨川市）と名古屋港水族館（愛知県名古屋市）は、鴨川シーワールドのシャチ3頭を名古屋港水族館へ緊急移送することに関し、下記のとおり基本合意することになりました。

両者の間では、昨年よりシャチ2頭のブリーディングローンに関して合意に至り、シャチの移送計画を進めておりましたが、移送前に名古屋港水族館で飼育されていた「ナミ」の体調が悪化、その後死亡するというを受け移送計画を延期していました。

しかし、このたび鴨川シーワールドで飼育中の4頭のメスのうち「ステラ」と「ラビー」の妊娠が確認され、現状の鴨川シーワールドの飼育施設では2頭のシャチの出産は、水槽数の不足で、過密状態になることから非常に困難な事態になることが明らかになりました。そこで2頭のシャチがそれぞれ無事出産できるよう「ステラ」とそのペアであるオスの「ビンゴ」、その子供の「ラン」を緊急に名古屋港水族館へ受け入れることについて鴨川シーワールドより名古屋港水族館へ協力要請があり、受け入れることになりました。

当初予定になかった「ラン」の移送については、他の子供に比べて年齢も若く、母親への依存度が強いいため、鴨川シーワールドに残すより親子一緒に名古屋港水族館へ移送するほうがよりよい飼育環境が作れると考えられることから、揃って移送されることになりました。

鴨川シーワールドは、名古屋港水族館で飼育される3頭のシャチに対してその出産を含め、全面的な支援体制をしき、バックアップを行っていきます。

両館は、世界的にも大変貴重なシャチの飼育下での繁殖であり、今は無事出産できることを切に願っております。

株式会社グランピスタホテル&リゾート
鴨川シーワールド

名古屋港管理組合
財団法人名古屋みなと振興財団（名古屋港水族館）

取材窓口：鴨川シーワールド総合企画課 荒木田・高橋・村松 TEL 04-7093-4809
名古屋港管理組合 小川・久野 TEL 052-654-7834
財団法人名古屋みなと振興財団 大友・堤 TEL 052-654-7134

【資料】

愛称	性別	年齢	飼育年数	体長 (2011.1.1現在)	体重 (2011.1.1現在)	備考
ビンゴ	雄	推定29歳	25年	650cm	約4,000kg	アイスランドにて採捕
ステラ	雌	推定25歳	23年	520cm	2,200kg	
ラン	雌	5歳	5年	420cm	1,200kg	繁殖個体(2006.2.25生)



左:ビンゴ、中:ラン、右:ステラ

名古屋港水族館の概要

1 建設経緯

○南館建設経緯

昭和 60 年～ 水族館建設構想、調査、計画、設計
 平成 2 年～ 建設工事(2 年)
 平成 4 年 10 月 南館オープン

○北館建設経緯

平成 5 年～ 建設調査、計画、設計
 平成 9 年～ 建設関連整備
 平成 10 年～ 建設工事(2 年 5 ヶ月)
 平成 13 年 11 月 北館オープン

2 展示の特色

- (1)南館 展示テーマ 南極への旅
 飼育生物 約 500 種 50,000 点
 概要 南極観測船ふじの航路を日本海、深海、赤道の海、オーストラリア、南極の 5 つの海域、地域に分け、そこに生息する生物を自然環境を再現した水槽で展示する。
- (2)北館 展示テーマ 35 億年をはるかなる旅～ふたたび海にもどった動物たち～
 飼育生物 バンドウイルカ 15 頭、ペルーガ 4 頭、カマイルカ 3 頭、ゴマフアザラシ 2 頭
 概要 大洋、日本海、オーロラの世界、進化の海(くじら博物館)の 4 つの展示ゾーンに分かれ、海棲哺乳類の進化の歴史をたどる。

3 設備概要

区分	南館(1 期)	北館(2 期)	計
敷地面積			40,300 m ²
建築面積	7,600 m ²	9,900 m ²	17,500 m ²
延床面積	18,800 m ²	21,100 m ²	39,900 m ²
飼育総水量	2,500t(97 槽)	24,600t(11 槽)	27,100t(108 槽)
展示水槽	2,400t(69 槽)	23,000t(7 槽)	25,400t(76 槽)
予備水槽	110t(28 槽)	100t(1 槽)	210t(29 槽)
治療水槽	—	1,500t(3 槽)	1,500t(3 槽)
保管施設	110t(83 槽)		

○南館 シネマ館・オーシャンシアター IMAX映像 縦 17m×横 23m 350 席
 カメ類繁殖研究施設 760 m²

○北館 メインプール 水量 13,400t 長 60m×幅 30m×最大水深 12m
 水中観察窓 縦 4m×横 29m×厚み 0.38m アクリルガラス
 大型映像装置 縦 8m×横 14m 633 インチハイビジョン
 スタンド 収容人数 3,000 人(座席 2,500 席、内ヒーター付 2,000 席)
 しおかぜ広場(多目的芝生広場) 4,600 m²

☆北館(鯨類)プール一覧表

水槽名称	水量(t)	形状寸法(m)		
		長さ(長軸)	幅(短軸)	水深(最大)
メインプール	13,386	60.0	30.0	12.0
シャチ1 (展示プール)	2,488	22.1	18.0	9.0
シャチ2 (予備プール)	3,850	34.2	18.0	9.0
シャチ3 (治療プール)	1,087	16.0	11.0	7.3
小計	20,811			
イルカ1	521	10.6	10.0	6.4
イルカ2	893	11.1	13.5	6.4
イルカ3	163	直径 6.0		5.8
小計	1,577			
シロイルカ1	1,814	30.2	17.0	6.3
シロイルカ3				5.1
シロイルカ2	264	9.5	7.0	5.0
小計	2,078			
予備水槽	120	直径 5.0		6.2
合計	24,586 ≒24,600			

鴨川シーワールド概要

【参考資料】

【鴨川シーワールド開業の経緯】

1960年代後半より、高度経済成長期を迎え、それに伴い国民生活は余暇日数の増加、賃金の高水準化等が要因となりレジャー人口は急増していました。首都圏においても人口は膨張を続け、レジャーに関しても既に湘南地域は飽和状態に達し、南房総が第二の湘南として注目を集めていた中、千葉県当局は北総の工業地帯化に対し、南総の観光開発計画を進めておりました。

このような社会状況を背景として「水族館中心の総合海洋レジャーセンター」「家族ぐるみで一日をゆっくり楽しめる国民休暇村的な海浜公園」を目的として、南房総屈指の景勝地として知られた鴨川市（当時鴨川町）の東条海岸に鴨川シーワールドは誕生しました。

水族館を「教育と健全なレクリエーションの場」と位置付け、東洋一の規模、内容をキャッチフレーズに、着工以来約10ヶ月を経て、1970年10月1日にオープン致しました。

【現在の鴨川シーワールド】

現在の鴨川シーワールドは、開業以来の水族館エコ・アクアローム（山奥の源流から海へと流れ大洋へと続く水の一生をテーマにした施設）に加え、ロッキーワールド（北太平洋の5つの海の自然環境をリアルに再現し、アシカやアザラシ等個性的な動物たちが、ありのままに暮らす姿を展示）や、トロピカルアイランド（世界で一番初めに日の出を迎えるキリバス共和国のサンゴ環礁をモデルにし、様々なサンゴ礁と色とりどりの魚達を展示）等施設を拡大。

シャチ、イルカ、ベルーガ、アシカの4つのパフォーマンスを始め、自然環境の一部を再現した環境一体型展示で、800種11,000点の川や海の動物たちを飼育展示するに至りました。

【鴨川シーワールド概要】

◆ 住所	〒296-0041 千葉県鴨川市東町1464-18	◆ 電話番号	04 (7093) 4803
◆ HPアドレス	http://www.kamogawa-seaword.jp	◆ FAX番号	04 (7093) 3084
◆ 開業日	1970年10月1日		
◆ 敷地面積	54,366㎡ 約65m×840m (参考/東京ドーム建築面積:46,775㎡, グランド面積:13,000㎡)		
◆ 延べ床面積	48,479㎡		
◆ 開園時間:	9:00~17:00 (時期により変更有)	◆ 定休日	不定休 (年間7日間有)
◆ 飼育動物総数	800種11,000点		
◆ 入園料	大人 (高校生以上) 2,800円 小人 (4才~中学生) 1,400円	学割 (要証明) 2,100円 65才以上 (要証明) 1,960円	
◆ 駐車場	収容台数/1,030台 駐車料金/1,000円/日		
◆ レストラン	3ヶ所	◆ 軽食コーナー	7ヶ所
		◆ 売店	3ヶ所
		◆ 救護室	有り

◆ 授乳室 有り ◆ トイレ 7ヶ所 (車椅子用トイレ5ヶ所)

◆ 交通案内

- 車/川崎浮島J.C.Tより約80分・・・東京湾アクアライン→館山自動車道 君津J.C→房総スカイライン・鴨川有料道路経由→鴨川シーワールド
- 車/東京湾フェリー(金谷より約45分)・・・久里浜→東京湾フェリー(約35分)→金谷→長狭街道→鴨川シーワールド
- JR特急「わかしお号」(東京駅より約2時間)・・・JR東京駅→特急わかしお号→JR安房鴨川駅→無料送迎バス(約5分)→鴨川シーワールド
- アクアライン高速バス「アクシー号」(東京駅より約2時間)・・・
JR東京駅→高速バスアクシー号→JR安房鴨川駅→無料送迎バス(約5分)→鴨川シーワールド (平日は鴨川シーワールドまで直通)

【鴨川シーワールド施設概要】

◆ 建物構造・規模	建物名称	延床面積	建物構造	規模	竣工時期
	・エコ・アクアローム	7,192.33 m ²	RC一部S造	地下一階、地上二階、塔屋一階	1970年
	・サーフスタジアム	2,470.50 m ²	RC造	地上二階	1970年
	・オーシャンスタジアム	2,487.89 m ²	RC一部PC造	地上二階	1987年
	・ロッキーワールド	4,306.31 m ²	RC一部S造	地下一階、地上二階	1998年
	・トロピカルアイランド	5,881.82 m ²	RC一部S造	地下一階、地上二階、塔屋一階	2000年
	・鴨川シーワールドホテル	8,079.30 m ²	RC造	地下一階、地上五階、塔屋二階	1971年
	計	30,418.15 m ²			

◆ 飼育展示施設	建物名称	規模	海水水量	淡水水量	飼育動物
	・エコ・アクアローム	マンボウ展示水槽他 計30槽	1,260 t	35 t	魚類・マンボウ・タカアシガニ他
	・マリンスシアター	メイン 長径17m 短径12m 水深3.5m サブ 長径12m 短径8m 水深3m	603 t 230 t	0 t 0 t	ベルーガ(シロイルカ) スタンド:約700席
		(映画館をイメージした施設で展示プールをスクリーンに見立てた造り、屋内型のスタジアムでベルーガパフォーマンスを実施)			
	・サーフスタジアム	A 長径13m 短径12m 水深4.5m B 長径14m 短径19m 水深3.5m C 長径13m 短径12.5m 水深3m	670 t 1,000 t 500 t	0 t 0 t 0 t	バンドウイルカ・カマイルカ他 スタンド:約1,000席
		(イルカのパフォーマンスを実施、スタンド最上段のイルカウォッチングステーションから、外洋のイルカを観察する事も可)			
	・オーシャンスタジアム	メイン 長径33m 短径20m 水深6m サブ 長径20m 短径15m 水深4.5m	3,500 t 1,300 t	0 t 0 t	シャチ スタンド:約2,000席
		(雄大な太平洋をバックにシャチのパフォーマンスを実施、レストランを隣接し水中観覧窓からシャチを見ながらの食事可)			

- ・ ロッキーワールド 地下極圏水槽他 計10槽 2,000 t 30 t 鱈脚類・ラッコ・オウサマシロギン他
 (笑うアシカで人気のアシカパフォーマンスを実施、半ドーム型の造りで雨天対応可) スタンド：約1,000席
- ・ トロピカルアイランド 大水槽 水深7.5m他 計10槽 880 t 5 t 熱帯魚